

令和6年度
第2回 伯寿の郷ユニット型特養運営推進会議議事録

1. 日時 令和6年7月16日(火) 14時～15時00分
2. 場所 伯寿の郷 会議室
3. 出席者
- | | |
|--------------|---------------------|
| 家族様代表 | 1名様 (入所者ご家族代表) |
| 地域住民代表者 | 1名様 (前安田交流センター館長) |
| 知見を有する者 | 1名様 (安田地区民生委員) |
| 市役所職員 | 1名様 (安来市介護保険課) |
| 地域包括支援センター職員 | 1名様 (包括支援センター相談支援員) |
| 施設職員 | 竹内施設長、山崎主任、今岡 |

4. 挨拶 (施設長)

安来市内、新型コロナウイルス陽性者増、隣のコスモス苑でも職員と利用者合わせ20名近く出ている。伯寿の郷に入らないように、本日の午前中も感染予防対策会議を開いた。

5. 会議次第

- (1) 入所者様の暮らしについて
- (2) 資質向上について
- (3) 質疑応答

議事録

議題に沿って、管理者より説明があり、質疑応答に入った。

(知見を有する方) 今年度は祭りの実施はどうか？子供達は楽しみにしているし、地域住民からも実施の問合せがあるがいかがでしょうか？

(施設長) 祭りに関していきいきゾーンの会合で、当面の間、見合わせが決定しました。理由としては、いきいきの郷所長より、職員人数の不足で祭りをする十分な体制がとり難いとの意見が出ました。今年度も安来市内4施設は新卒採用を出来なかった。伯寿としては先日の実習生の一人が当施設に就職を希望しているので、積極的に若い人を採用していきたい。そのため、祭りにおいては各施設においてそれぞれで取組み、ゾーン全体でのあり方は今後の課題でもあるため、その際は皆様に相談したいと思います。

(地域代表) コロナを理由に何でもかんでも中止となっている。社協にはいくらでも人は居るのに、居ないならそれなりのやり方はあるはずだ。単にやる気がないのではないか。福祉の元締めである社協がそのようではいかん。本気で取り組むべきだ。

(地域代表) 他、感染症の研修で、「ガウンテクニックやゾーニング」とはどういう意味か？

(職員) ガウンテクニックとは、排泄介助等で職員が身に着ける予防着等の着脱方法を言い、ゾーニングとは感染拡大防止のため、感染者と非感染者の区域を分ける事を言います。

(地域代表) それなら分かりました。最近横文字が多いもので、、、

(市役所職員) 今月は大雨による避難指示が出ましたが、施設としてはどういう対応を取りましたか？

(施設長) 緊急連絡網もありますし、あの時は施設長として待機していました。実際、避難となれば、川に近いユニットご利用者から避難を始め既存ホールに集め、医師会 2 階に上がるようになります。食料や水も備蓄してありますし、垂直避難できます。この辺りでは高い建物となります。

安田小学校も避難先となっていますが、とうてい行けないと思います。

(地域代表) 何年か前に公民館付近も水が腰位迄きたことあったが、安田小学校は無理だ。学校としても直ぐに受入が出来ないだろうし、行政は避難先をきちんと考えないといけない。

(知見を有する方) 最近の先生はサラリーマン化し、学校に対する愛着は無い人が多い。

(地域代表) そう言えば、様々な警報を出すけども、解除もきちんと出して欲しい。TV では出すのに、安来市は出しっ放しで終わるな。

あの警報はどういう流れで出すのか？音声も緊迫感がないし、、、あれで本当に避難させる気があるの？

(市役所職員) 気象台から発令されたら自動音声で防災無線で流れるようになっています。情報を市民に提供し、実際避難するかどうかは自分の置かれている状況を観て各自で判断して貰うようになっています。

(包括職員) 避難行動計画の見直しはしていますか？

(施設長) 国から BCP の作成指示が出ており、定期的に見直しをしています。

(家族代表) バーベキューの写真井父親が写っており、あの時はまだ元気な時でした。その後、看取りの説明をして貰い安心して施設に任せてあります。

(職員代表) インカムの活用。各グループを設定し、その中で看護師も含めてコールやセンサー対応をしている。骨伝導で様々な情報が入り、ベッドセンサーからも、「〇〇様が起きられました」等の音声があるし、ご家族より同意を得た利用者様にはカメラも設置してあり映像で状況も把握できる、職員の負担軽減に繋がっている。

(施設長) 施設としてもこのような ICT をどんどん取り入れ、効率的なケアをし職員の負担軽減を図っていきたい。

次回 9月17日(火) 14時～